

平成25年度 事務事業評価調査 [ソフト事業]

事務事業コード 13332002

平成25年度作成

平成24年度
実施事業

事務事業名 地域活動支援センター事業

区分	No	名称
章	1	やさしさと共生するまち
節	3	誰もが安心して暮らせるまちをつくる
施策	3	障がい者福祉の確立
小分類	3	障がい者の社会参加の促進
主要な施策	1	②文化スポーツ活動の支援と指導者の育成
事務事業番号	002	事業開始年度 平成 18 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 一般会計

部 名	保健福祉部	グループ名	障害福祉グループ
-----	-------	-------	----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目 的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	障がいのある人の創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流の促進等を図る
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	<p>地域活動支援センター事業（センター事業及び車両移送事業）の委託（登別市社会福祉協議会） ※障害者自立支援法において、地域生活支援事業の必須事業として位置づけられている。</p> <p>創作的活動の機会の提供、社会との交流の促進等を図るとともに、地域において雇用・就労が困難な在宅障がい者に対し、機能訓練、社会適合訓練、入浴等サービス並びに通所者の送迎などを行うものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創作的活動（陶芸・ちぎり絵・書道・絵手紙・手芸） ・社会適合訓練（カラオケ・パソコン） ・その他（料理・麻雀）
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	障がいのある人の創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流の促進等を図る。
根 拠 法 令 等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

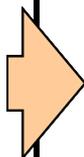
区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称 障害者地域生活支援事業費補助金	千円	3,870	3,754	4,396	4,396	4,396
道支出金	名称 障害者地域生活支援事業費補助金	千円	2,652	1,876	2,198	2,198	2,198
地方債	名称	千円					
その他	名称 障害者地域生活支援事業収入	千円	119	130	120	120	120
一般財源	名称	千円	8,362	9,255	8,912	8,912	8,912
事業費 合計			15,003	15,015	15,626	15,626	15,626

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果 指標	① 地域活動支援センター委託事業所数	箇所	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1			
	② 委託事業所登録者数	人	目標値	55	55	55	55	55
			実績値	50	50			

比較		《 Check 》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
障がい当事者（本人・家族）が持つ悩みや不安を抱えたまま地域で孤立していたり、生きがいを持ってないでいる。	障がいのある人の創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流の促進等を図る	



担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《 Check 》

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市が主体に行うべき事業である <input type="checkbox"/> ② 民間（事業者、市民団体等）でも実施可能である <input type="checkbox"/> ③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である <input type="checkbox"/> ④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	判断理由及びその他所見 障害者自立支援法において、地域生活支援事業の必須事業として位置づけられているため。
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="checkbox"/> ① 市民、団体等から具体的な要望がある <input type="checkbox"/> ② 市民アンケートの結果から必要性が高い <input type="radio"/> ③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い <input type="checkbox"/> ④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	判断理由及びその他所見 障害者自立支援法において、地域生活支援事業の必須事業として位置づけられているため。
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト（事業費）のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="checkbox"/> ① 低予算、少労力で高い効果をあげている <input type="checkbox"/> ② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い <input type="radio"/> ③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない <input type="checkbox"/> ④ 将来的に効率性を向上できる	判断理由及びその他所見 現委託費の大半は人件費となっており、活動に使用する消耗品等は利用者が負担しているため、当該コスト削減は難しい。
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="checkbox"/> ① 成果指標の向上が見られる <input type="radio"/> ② 市民、団体等の声から成果を感じられる <input type="checkbox"/> ③ 目に見える形で成果があがっている <input type="checkbox"/> ④ 成果の把握は困難である	判断理由及びその他所見 障がいのある人の創作的活動又は生産活動、社会との交流の機会を提供し、障がい者の社会参加促進等を図れた。

①担当グループによる評価 《 Check 》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	障害者自立支援法において、地域生活支援事業の必須事業として位置づけられており、障がいのある人の創作的活動又は生産活動、社会との交流の機会を提供し、障がい者の社会参加促進等を図る場が必要である。
-----------	----------------------	--

②行政評価会議による評価 《 Check 》

維持	備考	
-----------	----	--